

# 一本の古いテープから

生内義夫先生の作品の復元について・続報

## 新5回 畑谷 守良

石桜同窓会報28号に拙稿が掲載されて間もなく、色々な方々から関係する新たな資料や情報提供の提供を頂くことになりました。

その資料の一つひとつからは、敗戦後の物資の乏しい時代によくぞと思われるほどの文化の香り豊かなものが感じとられ、半世紀の時空を超えながら、生内先生をはじめとする当時の青春群像の情熱が今に伝わることの感動を覚えます。

井藤博氏(新2回生)からは「岩手山」「北上川」「岩手青年の歌」「ふるさと」などの楽譜の提供がありました。そのうち「北上川」は生内先生直筆のガリ版プリントで、半世紀以上も前の現物を目の前にして、よくぞ保存されていたことかと感慨一入でした。また「岩手山」の楽譜は前奏、間奏、終奏それに伴奏譜付のもので、それを基に演奏されたCDRを聴いて、その出来栄の余りの見事さに只々驚きました。国立音大の演奏会で発表された曲は後で

書き改められたらしく平易な表現になっています。

永沢和久氏(新4回生)

からは「北上川」「三陸海岸」「平和」そして小川「おぼろ夜」の楽譜の提供がありました。

これらは、当時のガリ版印刷のものをパソコンで打ち直し、しかも四部合唱用に見易く歌い易くしたものです。

山口晶子さん(盛岡高校/現盛岡二高卒/合唱団所属/旧17回生山口忠氏令夫人)

作品発表会は第1回生内義夫28日：県公会堂)のプログラムと同会参加者全員の記念写真のご恵贈がありました。また、山口さんを通じて盛岡高時代の合唱団員を

紹介され、その方々から岩手フィルハーモニックソサエティ結成時、練習時のお話や私共の調査事項の不備な点をご指摘頂きました。

金田一隆氏(新4回生)

は交声曲三部作の練習時のマネージャー役としても活躍され、各教室に「本日合唱練習あり、パート毎に集

合」など、連絡事項を板書して歩いたたのお話もありました。

完成したCDRにおける交声曲4曲のうち「岩手山」は完全なものですが、その他は伴奏部分やソロパートが欠落していたりと不完全なものです。「北上川」についても、伴奏部分が充分とはいえず、今後の楽譜捜しや採譜にその成果を期待する他ありません。

以上、既報を含めてほぼ1年がかりの資料収集になりましたが、これら貴重な資料(楽譜等)を基に、佐川隆二氏(新6回生)がPCによるCDR収録化を担われました。今回のこの収録により、生内義夫先生作品集として当時の関係者の手にとりたり、「大変懐かしい」「嬉しい」「ご苦労さま」など感謝の言葉を頂き、少しでもお役に立てたかと喜んでおります。

ある日偶然出逢った一本の古いテープから、このように大きな波紋が広がりに多くの人々の縁の糸がつながるとは、当初予想だにできませんでした。あらためて生内先生や水原先生、そして岩手フィルハーモニックソサエティを支えた方々の功績を想います。

年月と共に薄れゆく記憶や資料の喪失を少しでもカバーしたいと、私的な願いをこめて、小さなプロジェクトを組みました。幸いなくことに徐々に確実に資料が集まり、そのたびにチームの仲間と喜びを分かち合うことが出来ました。

今、あらためまして「生内義夫先生の作品の復元」企画にご賛同とご協力下さった皆様に紙上を借りて心から感謝御礼申し上げます。

また特にプロジェクトの要として3部作他のCDR製作にご尽力頂いた佐川隆二氏と企画当初よりご助力下さった横田英司氏(新11回生)に厚く御礼申し上げます。

追記：生内先生の作品約10点はCDR化し、楽譜と共に母校に保存しております。